

# びまん性大細胞型・バーキット中間型分類不能 B 細胞リンパ腫 (iBL/DLBCL) の臨床病 理学的予後因子の検討

## 【研究対象】

1999 年 1 月～2011 年 12 月の期間に、国立がん研究センター中央病院において悪性リンパ腫でびまん性大細胞型・バーキット中間型分類不能 B 細胞リンパ腫と診断された患者さんで、包括同意が得られており、かつ診断の時の検体が残っている患者さんの診療録を対象とします。

## 【研究の概要】

びまん性大細胞型・バーキット中間型分類不能 B 細胞リンパ腫と診断された悪性リンパ腫の二つの遺伝子 (myc 遺伝子と bcl2 遺伝子) の状態を調べます。そして、その患者さんの背景(リンパ腫の種類、広がり、治療の効果など)との関係を調査し、解析する研究です。

## 【研究の意義】

悪性リンパ腫とこの二つの遺伝子の関係を調べることによってこの特殊な疾患の治療選択の指針になると考えます。

## 【目的】

悪性リンパ腫に対してこの二つの遺伝子の状態を調べることで治療の目安となることを期待しています。

## 【方法】

残っている検体で染色を行います。対象患者さんの、年齢、性別、リンパ腫の種類、広がり、治療を開始した時の全身の状態、治療の効果などを診療録から情報収集してその関係を調べます。

## 【個人情報保護に関する配慮】

診療録の閲覧は個人情報を伴いますが、患者さん個人が特定されない方法で情報を収集します。対象となる患者さんの識別は本研究専用 to 別途割り振られた研究番号を使って管理し、個人情報が院外に出ることはありません。また、このホームページにおいて研究について公開し、問い合わせ等に応じて、患者さん等からのご希望があれば、その方の診療録は研究に利用しないようにします。診療録の利用を希望されない場合は、下記照会先までご連絡ください。

## 【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

〒104-0045 東京都中央区築地 5-1-1

国立がん研究センター中央病院 血液腫瘍科 小林幸夫

Tel 03-3542-2511 (代表)